



宗岡二小だより

学校教育目標

○よく考える子 ○やさしい子 ○たくましい子

志木市立宗岡第二小学校

令和4年度 No 5

令和4年8月29日

志木市上宗岡3丁目13番1号

TEL 048 - 473 - 2305

児童数8月29日現在390名



体験を通して学ぶことの楽しさを味わおう

可知良之

3年ぶりの制限のない夏休み、いかが過ぎされたでしょうか。学校という集団を離れ、家庭や地域で過ごす時間も子どもたちにとっては貴重な時間かと思えます。約1ヶ月の充電期間が2学期の活力となることでしょう。

さて、あと3日で9月になりますが、9月のことを旧暦で何と呼ぶか6年生の皆さんなら知っているでしょう。旧暦についての説明は省きますが、明治6年以前には今とは異なる暦を使っていて9月は長月（ながつき）と呼んでいました。現在でも9月の別名としてカレンダーなどにも書かれています。長月の由来は「夜長月」（よながつき）の略であるとする説が最も有力だそうですが、他に「稲刈月」（いねかりづき）が「ねかづき」となり「ながつき」となった説や「稲熟月」（いねあがりつき）が略されたものという説もあります。四季のある日本人ならではの考え方であり日々の生活が四季の移り変わりに伴って営まれていることがこうした言葉からよく分かります。親子ふれあい田んぼを長年続けている本校としては、稲刈月の説に1票入れたいところです。

米づくりについては5年生の社会科で日本の農業生産に関する学習で取り扱います。毎日主食として食べているお米は日本全国どこの都道府県でも生産している農産物であることに、まず疑問を持ちます。日

本各地の米袋を集めるなどして調べていくと確かに全国で様々なブランド米を作るなど工夫していることが分かってきます。

米づくり農家の苦心や努力も並大抵のものではありません。4月の種まきから9月の収穫まで、実に多くの作業を経てお米は私たちの元に届けられるものです。こうした学習を通して、実は「米づくりって、とても大変なことなんだなあ」と実感していきます。そもそも、米づくりは88の手間がかかると言います。「米」という漢字を分解すると八十八となるので昔からそう言われているようですが、実際にはもっとたくさん作業があるようです。それだけの手間をかけて育てていくものなのですが、田植えの体験のあとはすぐに稲刈りとなってしまう手間のほぼ全てを本校PTAさんをお願いしているのは心苦しいかぎりです。5年生の子どもたちにはこうした目に見えない多くの方々のお陰で米づくりの学習ができていることに感謝をし収穫の体験をしてほしいと思います。

ただ体験を楽しむだけでなく、体験を通して学ぶことの本質的な楽しさをどの子達に味わってもらえるように、どの学年でも2学期は学習に力を入れて取り組んでいきます。夏休み中の個人面談でお伝えした良さは更に伸ばし、課題はしっかり克服させて、充実した2学期となるよう今学期もご協力お願いいたします。